

令和2年度認知症施策について

1 認知症ケアパスの確立

認知症ガイドブックを改訂し、「地域共生型認知症ケアパス」を作成。
地域での認知症サポーター養成講座や様々な事業で活用予定。
→新たに作成したものを同封します。

2 認知症講演会

(1) 目的

- ① 市民・介護保険事業所の専門職が、認知症研究の専門家から、認知症の人と家族が地域で当たり前の生活をするためのヒントを学び、自分たちができることを考えることができる。
- ② 認知症になっても安心して暮らせるまちにしていくために、市民や介護保険事業所等が共に学びあうことで、自分ができることを実践することができる。

(2) 日 時 令和2年10月10日(土) 午後1:30～

(3) テーマ「災害時の認知症の人への支援と地域づくり(仮)」

講師：社会福祉法人 東北福祉会

認知症介護研究・研修仙台センター 研究部長 矢吹 知之氏

→詳細が決まりましたら市報等でお知らせします。

3 胎内市チームオレンジの取組み(新規)

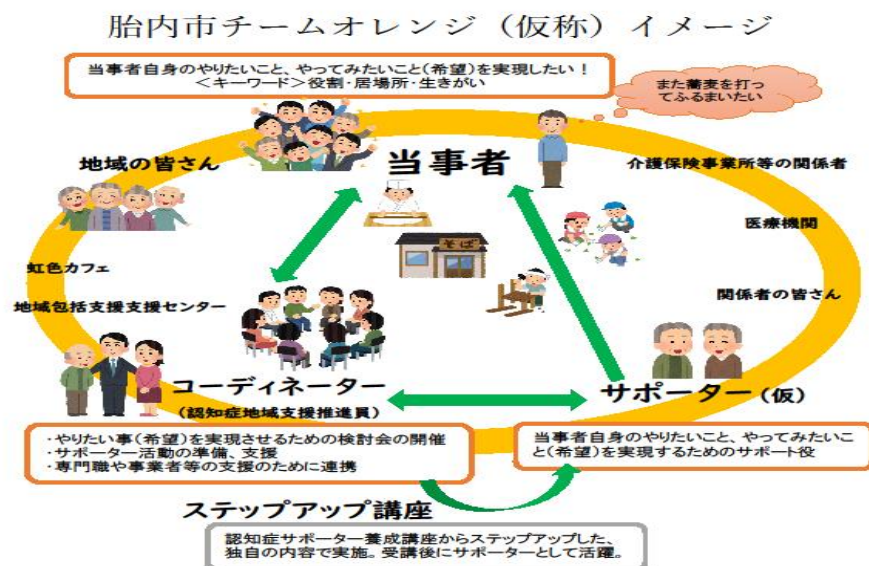
(1) 目的

- ① 地域の認知症当事者やその家族のニーズを、実際の活動につなげる。
- ② 地域の認知症当事者にとっての居場所や役割ができるような場ができる。

(2) 内容

- ① 地域共生型認知症ケアパスを活用し、当事者の希望や必要としていることを語り合う、本人ミーティングを開催
- ② チームオレンジ(仮)立ち上げ支援、運営支援
- ③ 認知症サポーターステップアップ講座の企画と開催
- ④ 当事者の希望を実現するために、若年性認知症カフェを実施

(3) イメージ図



4 街あるき声かけ見守り模擬訓練

(1) 目的

- ①認知症の人と家族を支え見守る地域の意識を高め、認知症の理解を促進していく。
- ②徘徊高齢者を隣近所、地域ぐるみ、多職種協働により、可能な限り、声かけ、見守り、保護していく実効性の高い仕組みの充実をはかる。
- ③認知症になっても安心して暮らせるために「徘徊＝ノー」ではなく「安心して徘徊できるまち」をめざしていく。

※平成29年から実施している訓練で、今年で4回目の開催になります。

(2) 内容

- ①研修会（市民向け）…内容や方法等は検討中
 - ・認知症見守り講演会の実施
 - ・認知症の理解、認知症の方への声かけを学ぶ研修会

②訓練の実施

実施時期：令和2年10月頃

搜索範囲：築地地域

搜索内容：認知症の方が、地域内を徘徊。市や警察をはじめ関係機関が搜索をするとともに、地域住民・企業・施設職員等がそれらしき人に遭遇し、「声かけ」「見守り」「通報」等により無事保護されるといった想定で訓練を行う。